

特集

骨董屋×星空教室

淡嶋健仁（骨董 Lagado 研究所）

1. はじめに

私は、左京区北白川で3年半前から宇宙の古いものを扱う骨董屋をしております(図1)。

宇宙に関する古いものを扱う理由としては、古い天文の書物や、宇宙を観測する機具は謎めいた不思議な魅力を持っていて、子供の頃に持っていた宇宙に対する興味を引き出してくれるものが多いと感じるからです。



図1 骨董屋の様子

このお店をオープンして、どうしてもしたい事がありました。

それは、「銀河鉄道の夜」(宮沢賢治 著)の冒頭に出てくるシーンで、小学校の先生が宇宙の授業をしているシーンの再現です。

2. 「銀河鉄道の夜」の冒頭文章

「ではみなさんは、そういうふうに川だと云われたり、乳の流れたあとだと云われたりしていたこのぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」先生は、黒板に吊した大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなところを指しながら、みんなに問を掛けました。

カムパネルラが手をあげました。それから、四五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとして、急いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌で読んだのですが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もないので、なんだかどんなこともよくわからないという気持ちをするのでした。

「銀河鉄道の夜」(宮沢賢治 著) [1]
この光景を再現しようと考えました。

3. 第一回星空教室が始まるまで

開催場所は、出町柳駅前にある鴨川三角州(図2)を選びました。毎年流星群の時には、みんなで寝転んで見ていた場所です。あとは宇宙のお話をしてくれる先生探しでした。



図2 鴨川三角州

そんな矢先、とあるカフェで宇宙に関するトークイベントがありました。そこでお

話をされていたのが、廣瀬匠さんでした。大変わかりやすい解説で、宇宙という遠い存在のものがとても身近に存在しているというお話でした。1年後念願が叶い廣瀬さんと星空教室を開催する運びとなりました。

場所は、鴨川三角洲の天然プラネタリウム、先生は宇宙を分かりやすく解説してくれる廣瀬匠さん、星にちなんだお菓子を作り、第一回星空教室は始まりました。

4. 星空教室を始めるにあたってお願いした事

廣瀬先生に授業にあたりお願いした事は、一般のお客さんが興味を持つような専門的ではない切り口でお願いしました。それを快諾して頂き、月に1回程度を目安に星空教室がスタートしました。場所は Lagado 研究所、ゲストハウス、京都のカフェ、叡山電鉄を貸し切ったの授業など京都という土地柄を利用しながら開催しました(図3)。



図3 星空教室の様子

5. 今までの星空教室のタイトル一覧

1. 夏の星座の見つけ方
2. 鴨川デルタで月見会
3. 宇宙の変遷

4. 冬の星座をたどる
5. ふたご座流星群観察
6. ガリレオが見た木星
7. コタツで天文
8. (開催されず)
9. 天文対話@etw cafe
10. 冬と春の星座の見つけ方
11. インド天文学
12. 宇宙人はいるの？
13. 七夕と夏の星座
14. 1周年
15. たこ焼きとお月見会
16. ふゆのせいざ

ワークショップやイベント

1. 手作り望遠鏡を作ろう
2. 手作り三球儀を作ろう
3. 星の列車(叡山電鉄を貸切り)

5.1 星空教室の客層や宣伝方法

客層は、年齢は20代から40代で男女比は、3対7くらいの割合でした。

新規とリピーター率は、6対4ほどでした。宣伝方法は、主に私と廣瀬先生の Twitter と Lagado 研究所のブログでの告知となりました。Twitter からの宣伝が最も効果的でイベント情報を拡散するのに多いに役に立ちました。

文 献

- [1] 宮沢賢治(1989)『新編 銀河鉄道の夜』, 新潮社, pp. 185-262

淡嶋健仁